

2016/01/10 の定期メンテナンスにおける kintone REST APIの注意点

配列書式の注意点

2016年1月10日の定期メンテナンス以降、kintone API の仕様上、配列型のJSON文字列をオブジェクト型で取得、登録、更新、削除する際には厳密に配列型で指定する必要があります。従来は、仕様上配列で渡す必要があるAPIに対して、オブジェクトで渡していても処理が行われる状況でした。

2016年1月10日の定期メンテナンス以降、仕様と異なる形式で値を渡すとエラーとなります。

こちらの事象は、[2016/01/10 の定期メンテナンスにおけるkintone API更新情報 Part1](#) でお知らせしておりました「一部のライブラリをグローバルスタンダードなものへ変更」の影響によるものです。

対象

配列で渡す必要のある主なAPIは、次の配列型の[フィールドタイプ](#)のvalue、一括取得のfields配列、一括登録や更新のrecord配列、一括削除のids配列が対象になります。

詳細は、APIの仕様をご確認ください。

- テーブル
- ユーザー選択
- チェックボックス
- 複数選択
- 添付ファイル

1.事象の例

- 定期メンテナンスによりエラーになるJSONのサンプル例

```
{
  "app":466,
  "record":{
    // 配列型でない箇所
    "checkbox":{
      "value":"sample1"
    }
  }
}
```

- 上記JSONサンプルを正しく記述すると下記ようになります

```
{
  "app":466,
  "record":{
    "checkbox":{
      "value":["sample1"]
    }
  }
}
```

2.事象の例

- 定期メンテナンスによりエラーになるJSONのサンプル例

```
{
  "app":466,
  "record":{
    "checkbox":{
      "value":{
        "0":"sample1",
        "1":"sample2"
      }
    }
  }
}
```

- 上記JSONサンプルを正しく記述すると下記ようになります

```
{
  "app":466,
  "record":{
    "checkbox":{
      "value":[
        "sample1",
        "sample2"
      ]
    }
  }
}
```

その他の注意点

key名の取り扱い

今回のアップデートにより、API利用時のkey名の取り扱いを変更しました。

- 今回のアップデート以前では、キー名が仕様と異なる場合でもリクエストが通る場合があります。今回のアップデート後はキー名仕様通りとする場合以外はエラーになりますのでご注意ください。

事象の例

- 定期メンテナンスによりエラーになるJSONのサンプル例(ファイルキー)

```
{
  "file_key": "c15b3870-7505-4ab6-9d8d-b9bdbc74f5d6"
}
```

- 上記JSONサンプルを正しく記述すると下記ようになります

```
{  
  "fileKey": "c15b3870-7505-4ab6-9d8d-b9bdbbc74f5d6"  
}
```

クエリ指定

今回のアップデート以前では、配列ではないパラメータを複数指定されても値を受け取る場合があります。

今回のアップデート後は配列ではないパラメータを複数指定されると、値を受け取れなくなりますのでご注意ください。

事象の例

- 定期メンテナンスによりエラーになる例

```
app=56&query=<String>&app=56
```

- 上記サンプルを正しく記述すると下記ようになります

```
app=56&query=<String>
```